



株式会社 横河ブリッジホールディングス

証券コード:5911

株主通信

YBHD NEWS No.57

平成31年2月

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成31年1月30日に、平成31年3月期第3四半期(平成30年4月1日から平成30年12月31日まで)の決算短信を公表いたしましたので、その概況につきましてご紹介いたします。

代表取締役社長 **森井 久司**

連結経営成績の概要

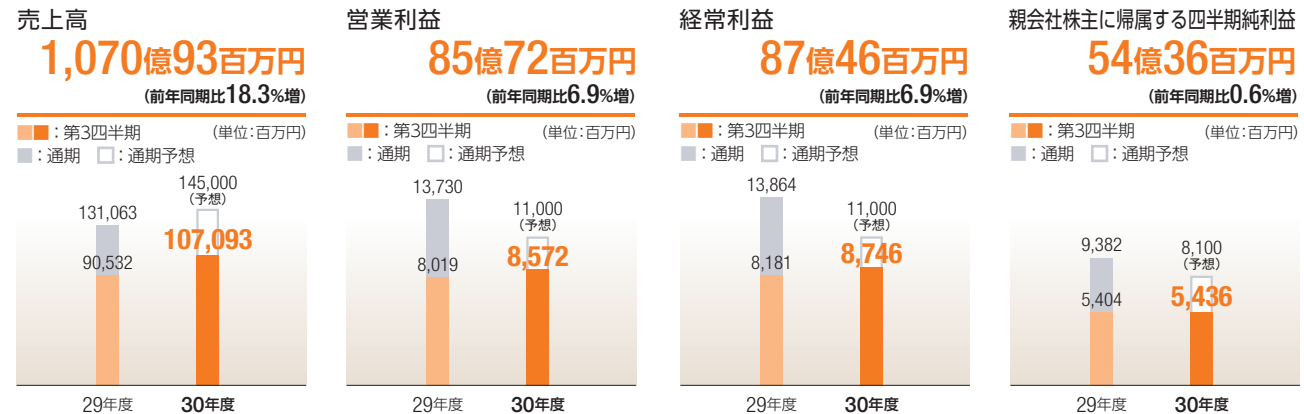
受注高の概要

橋梁事業につきましては、今期は国内新設橋梁の大型工事の発注が比較的上期に集中する形となる中で、当第3四半期におきましても大型工事を受注することができ、当第3四半期累計期間の受注高は635億4千万円となり、過去最高を更新した前年同期にほぼ並びました。

エンジニアリング関連事業の受注高は、437億6千万円と前年同期を下回りましたが、これは主に超高層関連などの建築機鉄事業の受注の減少によるもので、システム建築事業の受注高は前年同期を約11%上回っております。

先端技術事業につきましては、精密機器製造事業の需要が伸び悩みましたため受注高は32億9千万円と減少いたしました。

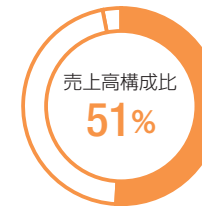
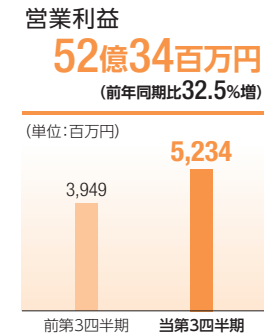
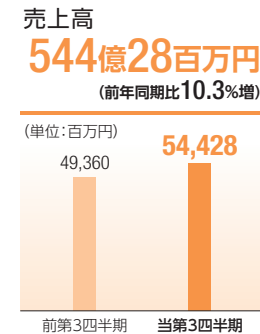
以上の結果、当社グループの当第3四半期累計期間における受注高は1,106億円となりました。



連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

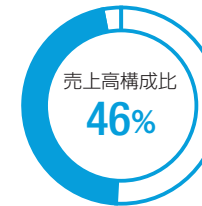
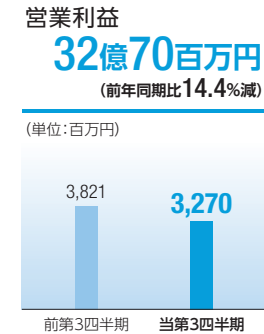
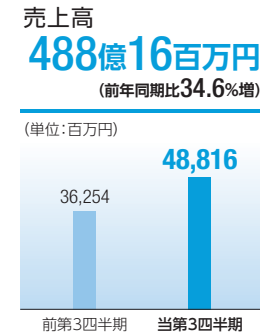
平成31年3月期連結業績予想につきましては、前回公表いたしました予想値から変更はありません。また期末配当予想につきましては従来の1株当たり13円から17円に変更いたしました。

橋梁事業



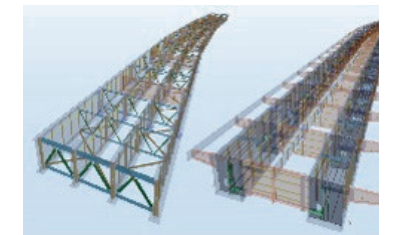
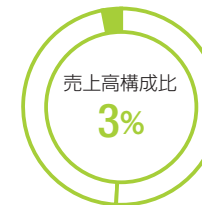
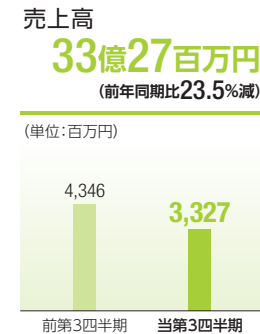
豊富な手持ち工事が順調に進捗いたしましたため、売上高は増収となり、営業利益も前年同期を大きく上回り、それぞれ第3四半期累計期間として過去最高の実績となりました。

エンジニアリング関連事業



売上高は大幅に増加いたしました。営業利益は減少し、当第3四半期累計期間におきましてもシステム建築事業の採算の改善は見られず、増収減益の状態が続きました。

先端技術事業



受注の減少により売上高、営業利益の何れも前年同期を下回りました。

名古屋港への物流の効率化をめざして

名古屋第二環状自動車道建設工事

名古屋第二環状自動車道(名二環)は、名古屋市の外周部を通る延長約66kmの環状道路です。

環状道路の西南部にあたる名古屋西JCT～飛島JCT間の約12kmが名二環最後の未開通区間であり、2020年度の全線開通に向け現在施工中です。

名古屋港は、自動車輸出台数および、総取扱貨物量が日本一の港です。名古屋港飛島埠頭地区へ直接アクセスできる名二環が開通すれば、物流の効率化によって、自動車産業や航空機産業等の活性化に繋がることが大いに期待されています。

今回は、名二環のうちYBCで施工したもしくは施工中の橋梁についてご紹介します。



1 平成28年度 名二環飛島大橋右岸鋼上部工事

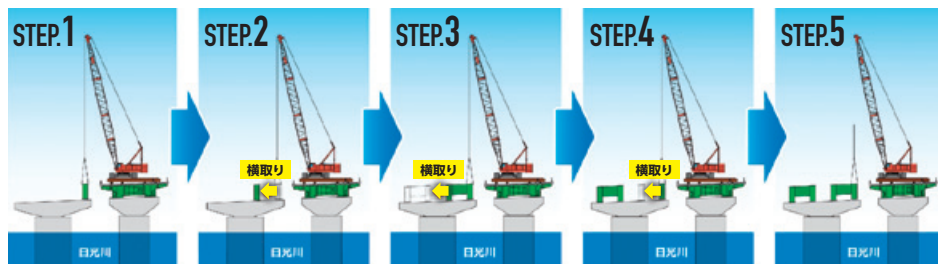
本工事は名古屋環状2号線のうち自動車専用道路において、名古屋市と飛島村の境界に位置する日光川を跨ぐ鋼橋上部工事の右岸側の工事を行っています。302号線道路との間に、内回りと外回りが2列ずつの計4列の桁が曲線を描く構造となっています。

橋梁形式	▶5径間連続非合成細幅箱桁橋
橋長	▶376m
鋼重	▶3,064t

特徴 横取り工法

4列の桁を1列ずつ組み立て横にスライドさせ、また1列組み立てては隣の列とつないでスライドさせる横取り工法で桁を架けました。曲線桁を一定距離でスライドさせるため設備の位置や角度を検討し、桁を正位置に置くためにずっと悩んでいたことを懐かしく思います。年度末工期ですので最後まで無事故無災害で施工します。

施工の流れ



2 平成27年度 名二環梅之郷南1高架橋鋼上部工事



毎年11月に行われる全日本大学駅伝(熱田神宮～伊勢神宮)の2区スタート直後に映し出される大きな橋が今回の作品です。この工事は、名古屋西JCTから飛島JCTまでの未開通区間の上部工トップバッターであり、中部地方の主要幹線道路である国道23号を通行止め規制したため非常に注目度の高い工事でした。



特徴 送出し架設工法

国道23号を跨ぐ部分は、送出し架設工法により橋を架けました。平成29年1月に行った内回り桁の送出しは、雪の中送出し架設する体験ができました。6月に行った送出し後の桁調整では、内回りとの隙間が指1本分(20mm)となるように据え付けました。皆様のご協力により現在も続く名二環の工事の一部を竣工することができました。

橋桁を台車に乗せて移動させる「送出し架設工法」で建設しました。

3 平成29年度 名二環新改成3高架橋西鋼上部工事

4径間連続少数主桁橋(橋長189.5m)をトラッククレーンベント工法により架設する工事です。国道302号がすぐ横を、村道新改成4号が桁下を通るため、半分の2径間は交通規制を行い夜間作業で架設しています。工期は平成31年2月13日までです。



特徴 トラッククレーンベント工法

作業ヤードを確保するため、架設場所のほぼ中央を斜めに通っていた国道302号を最初の2径間架設後、ほぼ真直ぐに道路を切り替える手順で、その道路切り替えが周辺の他工事にも影響するため、近隣工区との作業調整や制約が多い工事です。大型車の交通量も大変多い地域なので名二環が早く開通してほしいと地域の方々からは待ち望んでいます。



完成予想図

県民の高い注目を集める総合スポーツゾーンのメイン施設 栃木県新スタジアム新築工事

本工事は、栃木県が進める総合スポーツゾーン整備の主要施設である競技場(約25,000席)を建設するものです。2022年開催予定の第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」のメイン会場として、また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、ハンガリー代表のキャンプ地としての利用を予定しており、2019年9月末の建築工事完成に向けて工事は最盛期を迎えています。このうち当社は、スタンド部分のプレキャスト^(※1)の製造(一部)と建方工事^(※2)、また屋根の鉄骨部分の建方工事を担当しています。

所在地 ▶ 栃木県宇都宮市西川田2丁目
発注者 ▶ 栃木県
元請会社 ▶ 鹿島・増淵・渡辺・那須土木・磯部・浜屋JV

スタジアム上部のスタンドは、ほぼプレキャスト化されていますが、主な部材は圧着工法を採用しています。この工法は工場で作成された個別の部材(10t~30t/ピース)4~14ピースを地上で組み立て、一体化した部材(70t~200t)を大型重機で吊上げるダイナミックな工法です。

本工事に対する県民の注目度は非常に高く、見学者が毎日のように訪れます。

2018年5月頃より開始したスタジアム上部スタンドのプレキャスト建方工事も、2019年2月で完了を予定しています。その後は屋根鉄骨建方を開始し、2019年5月末に建方を完了予定です。無事故無災害で工事を終わられるように現場一丸となって安全作業に努めてまいります。

- ※1 専用工場でコンクリート部材を製作すること。
- ※2 現場において構成材を組み立てること。

建方の流れ



1 上部スタンドを地上にて仮組み立て

2 750tクレーンにて200tの部材を吊上げ

3 上部スタンド建方完了

体験型デジタルアートテーマパーク

株式会社PLANETS チームラボ プラネッツ TOKYO DMM.com建設工事



建築面積 ▶ 4,680 m²
建設場所 ▶ 東京都江東区豊洲6-1-16
ビルダー ▶ TSUCHIYA株式会社

オンラインゲーム事業や金融サービス事業などを展開するDMM.com様が出資され、株式会社PLANETS様が運営されている、体験型デジタルアートテーマパーク「チームラボプラネッツTOKYO DMM.com」は、国内外で多様なデジタルアートを展開するチームラボ様の作品を体験できる大規模施設です。

施設本体の建物寸法は、幅90.0m×奥行52.0m、大空間確保

保を得意とするyess建築の技術を生かした施設となっており、施設内に超巨大没入空間が設けられ、水が流れてくる坂道や膝ほどの水深の中を歩いて観賞するエリアもあります。

外装はホワイトを基調とした高断熱サンドイッチパネル材で仕上げています。

本施設は、豊洲エリアの新たな観光スポットとなっています。ぜひお立ち寄りください。



夜になると teamLab Planets TOKYO DMM.com



建物に設置されたバックライトのサインが映えます。

YSCホームページでYouTube動画・写真を掲載しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金 交付株主確定日	毎年3月31日、なお、中間配当を行う場合は、 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	http://www.ybhd.co.jp/



表紙の画像 与島橋

所在地:香川県東出市与島町
橋 長:854m (2径間266m + 3径間588m)

瀬戸大橋のうちの1橋である羽佐島と与島を結ぶ2径間および3径間連続トラス橋。今回、2径間部につきまして、部材補強・道路桁の支承交換等の耐震補強工事を株式会社横河ブリッジが施工しました。
なお、奥の斜張橋は、横河ブリッジがJVで施工し、昭和63年に開通した岩黒島橋です。

YBHDグループ



株式会社 横河ブリッジホールディングス
グループ全体の経営管理



株式会社 横河ブリッジ
橋梁・橋梁関連製品・土木・建築・保全・精密機器製造



株式会社 横河システム建築
システム建築・開閉式建築システム・環境



株式会社 横河住金ブリッジ
橋梁・橋梁関連製品・セグメント



株式会社 檜崎製作所
橋梁・水処理・環境製品・鉄構製品



株式会社 横河技術情報
情報処理サービス・ソフトウェア開発



株式会社 横河ニューライフ
不動産管理・情報システム・人材派遣



株式会社 ワイ・シー・イー
橋梁等構造物の総合エンジニアリング



Yokogawa Techno Philippines, Inc.

子会社の商号変更について

当社の連結子会社である株式会社横河住金ブリッジ(略号:YSBC)は、平成30年12月25日開催の臨時株主総会において、以下のとおり商号を変更することを決議いたしました。

- 1. 新商号** 株式会社横河NSエンジニアリング(略号:YNSE)
- 2. 変更予定日** 平成31年4月1日
- 3. 変更の理由** YSBCの株式の40%を保有する新日鐵住金株式会社が平成31年4月1日をもって商号を変更し「日本製鉄株式会社(英文:NIPPON STEEL CORPORATION)」に移行する予定であります。新日鐵住金株式会社との一層の事業発展を目指すとともに、YSBCのエンジニアリング関連事業に係る知名度の向上を図るため、商号を変更するものです。



株式会社 横河ブリッジホールディングス

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号
TEL. 03-3453-4111(代表) <http://www.ybhd.co.jp/>

